

科目名		発達障害治療学実習		授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
発達障害領域の疾患について知識を深め、作業療法評価を行い課題を明らかにするとともに、ライフステージを考慮しながらの作業療法対応を考える。								
〔授業全体の内容の概要〕								
発達障害領域の疾患に行われる作業療法治療をPPや模擬体験で学ぶ。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
発達障害児領域の作業療法が理解できる。								
回数	講義内容							
1	二分脊椎に対するOT							
2	筋ジストロフィーに対するOT							
3	知的障害に対するOT							
4	知的障害に対するOT							
5	発達障害に対するOT							
6	発達障害に対するOT							
7	脳性麻痺							
8	脳性麻痺							
9	脳性麻痺							
10	脳性麻痺児の治療の実際							
11	脳性麻痺児の治療の実際							
12	重複障害児へのOT							
13	重複障害児へのOT							
14	重複障害児へのOT							
15	被虐待児へのOT							
16	被虐待児へのOT							
17	言語療法							
18	嚥下、食事介助方法							
19	就労に向けて発達障害児の保護者・同胞への支援							
20	スヌーズレン・園芸療法							
21	音楽療法・音楽運動療法							
22	音楽療法・音楽運動療法							
23	ソーシャルスキルトレーニング							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名				著者名		出版社		
ゴールドマスター 発達障害作業療法学						メジカルビュー社		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする								